

リスクアセスメント実施表

工具・道具 ・保護具	溶接トーチ、ホルダー、アース、炭酸ガス 保護マスク、溶接面、革手袋、頭巾	怪我の程度(A)		災害の可能性(B)		怪我の程度(A)×災害の可能性(B)		リスクレベル(評価)	
		死亡にいたる災害	10点	頻繁	4点	40点～20点の時		(最重要)	
資格等	(免)JIS Z3841(半自動) JIS Z3801(被覆アーク溶接) (特)アーク溶接	重傷(長期)	8点	多い	3点	18点～10点の時		(重要)	
		休業(一週間程度)	6点	時々	2点	8点～6点の時		(注意)	
使用機械	半自動溶接機、抵抗器 ワイヤー送給装置	不休(軽作業は出来る)	2点	ほとんど無い	1点	4点～1点の時	-	(軽微)	
		非常に軽微(赤チン程度)	1点						

作業手順	災害要因の洗い出し (危険性又は有害性の洗い出し)	リスクの見積もり				実施すべき事項 (危険性又は有害性の除去・低減対策)	リスクの再見積もり			
		程度	可能性	評価点	評価		程度	可能性	評価点	評価
溶接機材の搬入	溶接電流による感電	10	2	20		トーチ、ホルダーの絶縁状態の点検	2	1	2	-
	"	10	2	20		キャップタイヤ、アースクランプの絶縁状態点検	2	1	2	-
	"	10	2	20		自動電撃防止装置の作動確認	2	1	2	-
発電機へのケーブル接続	1次電源による感電	10	1	10		発電機の1次アース設置の確認	2	1	2	-
	"	10	1	10		発電機の電源はOFF状態で接続する	2	1	2	-
	"	10	1	10		端子の締付け、心線接触の有無を確認	2	1	2	-
保護具の点検	溶接電流による感電	10	2	20		漏電遮断機の作動確認	2	1	2	-
	"	10	1	10		2次側アース(帰線)は母材の近くに設置	2	1	2	-
	溶接火花による火傷	6	3	18		上向き溶接時は頭巾と長い皮手袋を着装	2	2	4	-
	"	6	3	18		綿の作業服と溶接用革保護具の着装	2	1	2	-
	溶接ヒューム吸込みによるじん肺	8	3	24		溶接用防塵マスクの始業前点検、着装	1	1	1	-
溶接火花、湯玉等の養生	火花、湯玉等の落下による火傷、火災	6	3	18		溶接下部をスパッタシート等で隙間無く養生	2	2	4	-
溶接	溶接電流による感電	10	2	20		保護具、衣類の乾燥状態を保つ	2	2	4	-
	"	10	1	10		作業中断時は溶接機の電源OFF	1	1	1	-
	高所作業車からの墜落	6	2	12		バケットから身を乗り出さない高さに設置する	2	2	4	-
自主検査	高所作業車からの墜落	6	2	12		バケットから身を乗り出さない高さに設置する	2	2	4	-
片付け	残火による火傷、火災	6	2	12		作業中・作業後の火気監視(30分の残火確認)	2	1	2	-

リスクアセスメント実施表

工具・道具 ・保護具	シノ、ハンマー、グラインダー、保護メガネ 保護マスク、溶接面、革手袋、頭巾	怪我の程度(A)		災害の可能性(B)		怪我の程度(A) × 災害の可能性(B)		リスクレベル(評価)	
		死亡にいたる災害	10点	頻繁	4点	40点～20点の時		(最重要)	
資格等	(免)JIS Z3841(半自動) JIS Z3801(被覆アーク溶接) (技)鉄骨組立、玉掛	重傷(長期)	8点	多い	3点	18点～10点の時		(重要)	
		休業(一週間程度)	6点	時々	2点	8点～6点の時		(注意)	
使用機械	16tクレーン、17m高所作業車、玉掛治具 シャーレンチ、逆回転レンチ	不休(軽作業は出来る)	2点	ほとんど無い	1点	4点～1点の時	-	(軽微)	
		非常に軽微(赤チン程度)	1点						

作業手順	災害要因の洗い出し (危険性又は有害性の洗い出し)	リスクの見積もり				実施すべき事項 (危険性又は有害性の除去・低減対策)	リスクの再見積もり			
		程度	可能性	評価点	評価		程度	可能性	評価点	評価
作業場所・通路の養生	段差により躓き、転倒する。	6	3	18		コンパネ、番木で段差を無くしてシート養生する。	2	2	4	-
客先設備・製品の養生	設備・製品上で躓き、転倒する。	6	3	18		設備・製品の両側からシート掛けをする。	2	1	2	-
原則、製品は事前に移動 を依頼する。						(設備・製品上に乗らない)				
搬入材料の荷下し・取込み	吊荷が建物に接触して荷振れする。	8	2	16		介錯ロープを使い吊荷を誘導、吊荷直下は立入禁止	2	1	2	-
	仮置き材の転倒による挟まれ。	8	2	16		堅固で水平な場所に資材を置く。	2	1	2	-
ケミカルアンカー打設	ドリルに腕を巻き込まれる。	8	2	16		本体を両手で持ち、身体を躯体に預ける。	2	2	4	-
基礎鉄骨取付け	搬入トラックの死角に入り接触する。	8	3	24		誘導者は笛で合図して運転手に場所を明確にする。	2	2	4	-
	掘削部と土間の段差に躓き、転倒する。	6	3	18		掘削面と土間に人員を配置する。	2	2	4	-
フレーム解体	ボルト抜き取時に部材が跳ね上り作業員が接触する。	8	3	24		クレーンの荷重を抜取り前に確認してゆっくり巻上げる。	2	2	4	-
	スブライスPLが落下する。	6	3	18		スブライスPLは取外して高所作業車で下ろす。	2	1	2	-
フレーム取付け	水平梁取付け時に建屋にクレーンフックが接触して吊荷が落下する。	6	2	12		吊荷の旋回を無くすために、フレームは事前に直下に置いて巻上げ動作のみとする。	2	2	4	-
	建屋と高所作業車に挟まれる。	8	2	16		吊荷が所定位置に近接してから高所作業車を移動。吊荷は介錯ロープで下部から吊荷直下を避けて誘導する。	2	1	2	-
本締め・タッチアップ	濡れた革手袋でシャーレンチ使用して感電する。	10	1	10		3芯の機械を使用し、乾いた革手袋を使用する。	2	1	2	-
	高所作業車から墜落する。	8	2	16		身を乗り出さない位置に作業車を近づけてから作業を行う。	2	1	2	-
片付け	設備・製品上で躓き、転倒する。	6	3	18		設備・製品の両側からシート掛けをする。	2	1	2	-
						(設備・製品上に乗らない)				